

# 合格体験談 商学部

## PROFILE

出身高校：神奈川県私立高校  
高校受験：していない(中高一貫)  
部活動活動頻度：週4  
部活動引退時期：高3春  
社会：世界史(二次)、地理  
理科：生物基礎、化学基礎  
オープン判定：A  
共通テストリサーチ判定：C  
得意科目：数学、世界史  
苦手科目：現代文、古文、英語  
おもな勉強場所：塾の自習室  
塾：通っていた

## 高1・2年の学習

志望校を決める前から得手不得手で将来の幅を狭めたくなかったため、当時苦手だった数学を含めて全体的に良い成績を取るように勉強しました。

## 受験期の失敗

試験科目の順番を勘違いしていたことに前日に気付いて焦りました！

高3春

## どうしても一橋に入りたい

高1から志望していたこともあり、「どうしても一橋に入りたい!!!」という思いで、一橋一筋で勉強しました。高2と変わらない勉強を続け、基礎固めを徹底しました。基本的に塾で勉強し、高校では息抜きに友人とおしゃべりしていました。

高3夏

## バランスを大切に

7月頭に力試しで受けた冠模試がC判定だったため、夏に向けてのモチベーションになりました。7月は基礎固めと並行して共通テストの過去問を10年分演習し、8月は二次の過去問を約7年分解きました。息抜きとして友人と一橋のオープンキャンパスに行きました。

高3秋

## A判定が取れるも……?

この時期から過去問を解く際に制限時間を設けました。模範解答を自分で添削したり、疑問点を高校の先生に質問したりしたことで9月の模試ではA判定が取れました。それが自信につながりましたが、同時にプレッシャーで体調の優れない日々が続きました。ケアレスミスが多かったため、簡単な計算問題を解きました。

# 合格体験談 商学部

## PROFILE

出身高校：神奈川県私立高校  
高校受験：した  
部活動活動頻度：週5  
部活動引退時期：高3夏  
社会：世界史(二次)、倫政  
理科：生物基礎、化学基礎  
オープン判定：C  
共通テストリサーチ判定：C  
得意科目：世界史  
苦手科目：現代文  
おもな勉強場所：塾の自習室  
塾：通っていた

## 高1・2年の学習

高1・2年ではおもに数学の予習に力を入れていました。学校の進度が遅かったので、早く入試対策を始められるように自分で数学の参考書を使って予習をしました。

## 受験期の失敗

体調管理がうまくいかず、頭痛があるまま私大の入試に臨んでしまいました。

高3春

## スキマ時間の活用

高3の春は部活が忙しかったので、まとまった勉強時間が取れませんでした。移動中などのスキマ時間に英単語や古文単語の暗記をしていました。また、世界史の通史が終わっていなかったので、教科書で予習をしていました。

高3夏

## 英語を固める

高3の夏には部活が終わり、まとまった勉強時間が取れるようになりました。夏休みは特に英語に力を入れ、基礎をもう一度固め直しました。速読力を高めるための毎日の音読と、リスニング対策のためのシャドーイングをしていました。

高3秋

## 応用問題へ

高3の秋は応用問題にできるだけ多く触れることを意識していました。11月に一橋の過去問を解き始め、12月からは共通テストの過去問を解きました。また、世界史の細かい知識を覚えるために資料集を読みこんでいました。

# 合格体験談 経済学部

## PROFILE

出身高校：宮城県県立高校  
高校受験：した  
部活動活動頻度：週5  
部活動引退時期：高3春  
社会：日本史（二次）、世界史  
理科：物理基礎、化学基礎  
オープン判定：B  
共通テストリサーチ判定：B  
得意科目：数学、英語  
苦手科目：古文、漢文  
おもな勉強場所：塾の自習室  
塾：通っていた

## 高1・2年の学習

部活が忙しくあまり勉強時間を取れなかったため、授業の復習だけに集中していました。ただ、英語に関しては単語力の不足が後に響くと思い、移動時間などを使って単語帳に取り組みました。

## 受験期の失敗

社会が苦手なのに暗記量の多い日本史・世界史を選び、授業も集中できず、共通テスト前が地獄でした。

# 合格体験談 経済学部

## PROFILE

出身高校：東京都私立高校  
高校受験：していない（中高一貫）  
部活動活動頻度：自由  
部活動引退時期：高2冬  
社会：世界史（二次）、倫政  
理科：化学基礎、物理基礎  
オープン判定：B  
共通テストリサーチ判定：A  
得意科目：数学、英語  
苦手科目：日本史、世界史  
おもな勉強場所：塾の自習室  
塾：通っていた

## 高1・2年の学習

全ての科目について、学校の勉強のみを行っていました。学校が英語に力を入れていましたが、それ以外は一般的な高校の学習進度と変わりませんでした。並行して一橋の推薦入試の準備も行っていました。

## 受験期の失敗

放課後の友人との談笑にハマってしまいました。世界史の勉強をちゃんとすべきでした。

高3春

## 数学を武器に

部活引退の前だったので勉強時間は短かったのですが、数学を武器にしたいという理由から受験数学の勉強を本格的に始めました。他の教科はほとんど勉強せず、網羅系問題集を全ての単元が完璧になるまで繰り返し解いていました。

高3夏

## 委員会との両立

所属していた文化祭実行委員の忙しさがピークだったので、あまり時間は取れませんでした。しかし、自習室の利用のために塾に入ったことで、効率的に勉強を進めることができました。数学はこの時点で二次に手が出せるレベルまで成長しました。

高3秋

## 本格始動

演習ベースの授業以外は寝てしまい、学校が終わったら塾の自習室へ行き閉館まで勉強する、の繰り返しでした。この時期から社会の復習を始めましたが、授業での吸収が甘かったせいで難航してしまい、優先度は学校の授業>自習であることを学びました。この頃の模試では総合6割でしたが、最終的に8割まで上げられたのでこの時点での点数は気にしなくていいと思います。

高3春

## 数学の強化

英語・数学・国語を塾で対策していました。この頃は複数の参考書を用いて数学ばかりを自習して、他科目は塾任せでした。その結果、6月の冠模試の数学の出来はかなり良いものでした。徐々に世界史の通史を始め、英語・国語の過去問演習も始めるようになりました。また、一橋の推薦入試の書類作成も始めました。

高3夏

## 推薦対策との並行

共通テストレベルの知識の定着を目標に世界史を主に勉強しましたが、うまくいきませんでした。気分転換に数学をしつつ、英語・国語は2,3日に一度演習を行うようにしました。夏期講習を軸にして時間ごとのルーティンを組んで勉強しました。また、推薦の受験資格である IELTS 6.5 を夏休み終わりに取得しました。

高3秋

## 気合の入れ直し

9月の文化祭後（行事は問答無用で最大限楽しみましょう）に気が抜けてしまいましたが、10月の冠模試後に気合を入れ直しました。冠模試で偏差値40を取った世界史を重点的に学習し、数学は独学で、他科目は塾で対策をしました。また、明治大学の総合型選抜を受験し不合格をいただきました。12月に入ると共通テスト対策に注力し、共通テスト対策問題をとにかく解きました。

# 合格体験談 法学部

## PROFILE

出身高校：東京都私立高校  
高校受験：していない（中高一貫）  
部活動活動頻度：週6  
部活動引退時期：高3春  
社会：日本史（二次）、倫政  
理科：生物基礎、化学基礎  
オープン判定：A  
共通テストリサーチ判定：A  
得意科目：日本史  
苦手科目：現代文、古文、数学  
おもな勉強場所：塾の自習室  
塾：通っていた

## 高1・2年の学習

部活中心の生活を送り、学校の課題に追われていました。好きだった日本史だけは授業で習った知識が定着していました。また部活の朝練で早起きの習慣がついていたことは受験生になってからも役立ちました。

## 受験期の失敗

睡眠時間を削りすぎました。体調、メンタル、勉強の質の維持のためにしっかり寝たほうが良いです。

高3春

## 焦って受験勉強スタート

高2の冬から受験勉強に本腰を入れ始めましたが、友人と比べて私だけが部活のために十分な勉強時間を確保できていないということに焦り、睡眠時間を削って勉強しました。勉強はしていたものの好きな科目にばかり時間を費やしてしまったため、科目ごとの進捗に大きな差がありました。

高3夏

## 心も体も追い込んだ夏

夏休みは塾に言われるがままに15時間は勉強していました。模試は全てA判定で順調でしたが、兄弟との比較や中学受験失敗のトラウマなどから、受験が本当に不安でメンタルはずっとボロボロの状態でした。また睡眠時間をさらに削り、カフェインを多量に摂取するようになって、体調的にも精神的にも自分を追い詰めてしまいました。

高3秋

## 休むことに罪悪感

勉強面では数学が思った以上にできていないことに気づき、数学を重点的に勉強していました。日本史など安定していた科目は過去問演習を重ねていました。生活面では、睡眠不足で慢性的な体調不良が続いていましたが、休むことに強い罪悪感を抱き無理に勉強していました。今振り返ると勉強の質は下がっていたと思います。

# 合格体験談 法学部

## PROFILE

出身高校：東京都立高校  
高校受験：した  
部活動活動頻度：週6  
部活動引退時期：高3春  
社会：世界史（二次）、倫政  
理科：生物基礎、化学基礎  
オープン判定：D  
共通テストリサーチ判定：D  
得意科目：世界史  
苦手科目：現代文  
おもな勉強場所：自宅  
塾：通っていた

## 高1・2年の学習

高1の時は塾に通わず、学校の課題をこなし定期試験で平均点以上が取れるように勉強していました。高2で大学受験を意識し始めると不安を感じ、夏から予備校に通い始めました。

## 受験期の失敗

共通テスト対策を塾ではなく自分でやらなければならないということを忘れていました。

高3春

## 塾の講座をとりすぎ"疲弊

第一志望を慶應に変えるか、一橋で貫くかで迷っていたので、塾の小論文の講座も取り、国語・数学・共通テスト数学・英語・世界史・小論文などの科目を対策するため週6で塾に通っていました。受講した講座は全てためになりましたが、疲れすぎて心身に支障が出ていました。

高3夏

## 夏期講習で埋める夏

一橋を受ける決断をしたので小論文の受講をやめました。学校の授業の進度に焦りを感じていた世界史を夏休みに塾で勉強したことで、心に余裕が生まれました。夏休みのほとんどが学校と塾の夏期講習で埋まっていました。講習が休みの日には、受ける大学を選ぶために、さまざまな大学のオープンキャンパスに行きました。

高3秋

## 本格的な過去問演習へ

基本的には塾に重点を置いて勉強していました。世界史と数学の過去問を購入し、解いたあとに塾の先生に添削してもらっていました。また、日曜はほぼ毎週さまざまな模試を受けていました。英語は塾の京大一橋コースに入り、隔週で一橋特有の問題の研究をするうちに慣れていきました。

# 合格体験談 社会学部

## PROFILE

出身高校：東京都私立高校  
高校受験：していない(中高一貫)  
部活動活動頻度：週3  
部活動引退時期：高3夏  
社会：世界史(二次)、地理  
理科：化学基礎、地学基礎  
オープン判定：A  
共通テストリサーチ判定：A  
得意科目：世界史、英語  
苦手科目：現代文、古文、数学  
おもな勉強場所：塾の自習室  
塾：通っていた

## 高1・2年の学習

高1・2年の間は、おもに学校の試験勉強をしっかりと行い、基礎的な学力を固めていました。また通学時間を使い古文単語や英単語を暗記することで部活と勉強を両立させていました。

## 受験期の失敗

計算ミスが本番までなくなりませんでした。

高3春

## 通史を終わらせたい

高3になってからは、苦手だった数学だけは塾をベースに勉強を進めたものの、それ以外の科目は学校の授業と試験を中心に勉強を進めました。この時期は特に二次で使う世界史に力を注ぎました。これは1学期のうちに通史の学習を終わらせなかったからです。

高3夏

## 弱点の克服を集中的に

秋から過去問演習を始めるにあたって弱点をなくしたいと考え、夏休みには苦手だった数学と化学基礎、また通史の理解に磨きかけたかった世界史の3科目を重点的に勉強しました。一方で、得意だった英語と国語についてはほとんど勉強をしませんでした。

高3秋

## 過去問演習をスタート

9月に入ってからすぐに一橋の過去問演習を始めました。英語・国語・世界史はどんどん解き進めていったものの、数学についてはまだ自分が一橋の問題と戦えるレベルに達していないと自覚しました。そのため、10月の半ばまでは問題集や私大の過去問を解いて、その後一橋の問題に再着手しました。

# 合格体験談 社会学部

## PROFILE

出身高校：東京都私立高校  
高校受験：した  
部活動活動頻度：自由  
部活動引退時期：高3春  
社会：日本史(二次)、倫政  
理科：生物基礎、化学基礎  
オープン判定：C  
共通テストリサーチ判定：C  
得意科目：日本史  
苦手科目：古文、漢文  
おもな勉強場所：塾の自習室  
塾：通っていた

## 高1・2年の学習

高1の時は特に受験に向けた対策はしていませんでした。高2の11月ごろからは日本史の教科書の重要箇所を青マーカーを引いて赤シートで隠せるようにしていました。

## 受験期の失敗

共通テストでしか使わない倫理、政治・経済をおろそかにしてしまいました。

高3春

## 学校の勉強を軸に

この時期には部活をすでに引退していたので、放課後は勉強に注力しました。勉強時間は平均して平日は5時間、休日は9時間程度でした。この時期は過去問演習というよりも定期試験対策や模試の復習など、学校の勉強をベースにしていました。

高3夏

## まだまだ基礎固め

夏は塾の夏期講習に通い、数学・英語・日本史の一橋対策の授業を受講しました。夏休みの勉強時間は平均して1日10時間ほどでした。この時期になっても基礎が足りないと感じることが多かったため、過去問には着手せずに苦手分野の基礎を固めることに尽力しました。

高3秋

## 朝型への切り替え

9月から塾で数学の講座を受講し始めたので、自習は基本的に塾で行うようになりました。10月後半から過去問に取り組み始めましたが、勉強時間は平日は1日5~6時間、休日は9~10時間程度でした。この時期には朝型に切り替えるために毎朝5時過ぎに起き、学校で自習してから高校の授業を受けていました。

# 合格体験談 SDS学部

## PROFILE

出身高校：千葉県私立高校  
 高校受験：していない(中高一貫)  
 部活動活動頻度：週5  
 部活動引退時期：高3春  
 社会(共通テスト)：日本史、地理  
 理科：物理基礎、化学基礎  
 オープン判定：D  
 共通テストリサーチ判定：B  
 得意科目：数学  
 苦手科目：国語  
 おもな勉強場所：自宅  
 塾：通っていた

## 高1・2年の学習

受験を意識した勉強はまったくせず、学校のテストのために勉強をしていました。平日は部活がありほとんど勉強できなかったため、月2回ほどの試合のない日曜日にまとめて12時間ほどしていました。

## 受験期の失敗

難しいうえに一橋数学に対応した問題が少ない問題集に時間を費やしてしまいました。

## SDSの新設を知って

高3春

部活で勉強する時間はほとんど取れず、休日にまとめてやっていました。この時期にSDS学部の新設が発表され、数学を強く意識し始めました。高1・2年の時と比べ少し難易度の高い問題に取り組み、全て記述で答えるようにしました。英語は中学英語からやり直し、春に終わりました。

## 偏差値の急上昇

高3夏

毎日12時間ほど勉強しました。数学の配点が重いので勉強時間の55%は数学、35%は英語、残りは共通テストで使う社会に費やしました。数学の偏差値が一番低かったのですが、問題を解きながら解法を覚えたり、間違えた問題の類題を今まで解いたことのある問題の中から探して一緒に復習したりして、夏の間偏差値が15ほど上がりました。

## 各教科の本格始動

高3秋

数学は過去問を20年分ほど解き進めながら自分で問題を引っ張り出して、夏のころと同じように取り組んでいました。英語は和訳の勉強をメインにしながら毎日30分ほどリスニングに割きました。共通テストのみで使う科目は学校のテストに合わせてしっかり勉強しました。

# 合格体験談 SDS学部

## PROFILE

出身高校：千葉県立高校  
 高校受験：した  
 部活動活動頻度：週5  
 部活動引退時期：高3夏  
 社会(共通テスト)：世界史、倫政  
 理科：物理基礎、化学基礎  
 オープン判定：E  
 共通テストリサーチ判定：C  
 得意科目：国語  
 苦手科目：社会  
 おもな勉強場所：塾の自習室  
 塾：通っていた

## 高1・2年の学習

あまり暗記科目が得意ではなかったので、定期的に復習していました。それ以外は学校の教材を使った勉強と定期試験対策しかしていなかったので、成績はあまり良いほうではなかったです。

## 受験期の失敗

受験期も毎日1時間ゲームをしていたことです。

## 塾に通い始める

高3春

塾に通い始め、今まで真面目に取り組まなかった英語の文型や、数学の復習を始めました。まだ部活を引退していなかったため勉強時間は多くても平日2、3時間ほどしか確保していませんでした。

## 基本3科目は固めるべき

高3夏

部活を引退してから勉強時間をしっかり確保するようになりました(最大6、7時間程度)。一度過去問を眺めて、学校で一橋数学対策の補講を取った以外にはまだ特に二次対策はしていませんでした(1年分はやっておくべきだったかもしれません)。この時期までに英語・数学・国語の基本3科目の基礎を完成させることはマストだと思います。

## 志望学部の変更

高3秋

ほとんどの時間を共通テスト対策に費やしました。また二次対策では、社会学部志望であったにもかかわらず、社会の成績がまったくと言っていいほど伸びていませんでした。その結果、冠模試では社会は10点しか取ることができず、E判定をとってしまったため、二次で社会が課されないSDS学部に志望を変更しました。